

# ぼだい樹

37

2003/11/1 発行  
津島市神明町  
牛頭山 宝寿院

## 宝寿院歳時記

秋 たけなわ 実りの季節となりました。  
猛暑から急転直下晩秋の気配さえ感じて、  
夏物から冬物へ 衣更えです。

庭も夏の長雨で 肥沃な土が 少々栄養が  
足りなくなり、来春に備えて寒肥の増量を  
どの程度にしようか等と考えています。

かりんが沢山なっていますよ。花梨酒は  
如何ですか？ 紅白の萩・フジバカマ・花  
茗荷・紫苑・菊も 早咲きから咲き始め、  
庭一面に咲き競うのですが、今年は少し  
様子が違ってきます。 津島の秋祭りも、  
地元の人々の 涙ぐましい努力によって、  
十五台の山車が参加して開催されました。

向島三車(馬場町・中町・上町)それぞれ  
特徴の有る半纏(ハンテン)を着用します。

中町は 文字車と言いい、からくりの人形  
が筆を持って本当の墨をつけて 半紙に  
墨痕鮮やかに文字を書きます。半纏の襟  
に、合成文字が書かれています。

上町は 綾車と言いい唐子が曲芸をします。  
糸も、引っかけるフックも無い中で空中

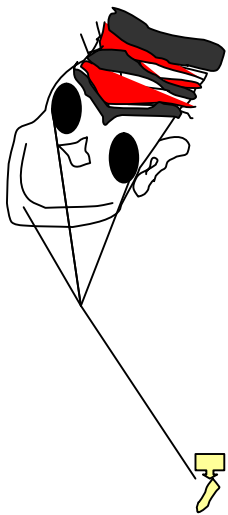
を飛びます。来年はきっと見に来てね。

宝寿院の庭では、正月に咲くヒマラヤユキ  
ノシタがあちらこちらで咲き、てっせん  
(クロマチス)の狂い咲きが見られ、津島  
高校の桜が咲いているそつです。変です。  
来年は 普通の年にしたいですね。

申年の梅は 梅干しにすると良いと言ひ伝  
えられています。来年こそ 梅の実が 豊作  
になるといいですね。又、来年は 母屋の  
立替普請が難しい年です。ご注意ください。  
庭の異変ばかりでなく、お米も野菜も気候  
に左右される仕事は とても大変ですね。

さて、新年の初参りを御計画ください。  
除夜の鐘と同時に 厄除け薬師さまの扉を  
開いて参詣の皆様は 甘酒を接待します。

昨日と今日がどれほど違うのか解りませ  
んが、何故か、おごそかな心洗われた時が  
訪れます。二〇〇四年の 幕開けと共に、  
家族の平安を、この一年の無事息災を祈り  
ましょう。宝寿院では、申年の泰平を祈念  
し、世界中の子供たちの平和を 元朝護摩  
に託します。



## 宝寿院北駐車場案内

宝寿院

津島神社 東

赤色駐車場

美容室ロン

この道ほそい

北  
南

接骨院

井天宗

文西小

大和町

至一宮

155

至弥富

フジマル

長寿の里

細い道ですが注意して  
入れて下さい。十台程  
収容できます。

**交通安全祈祷希望の方**  
ここに車を駐車(予約)  
してください。  
山主